小須戸地区文化祭（第46回市民展・第36回芸能祭）2年連続 開催中止

小須戸文化協会
会長　杉本　昭彦

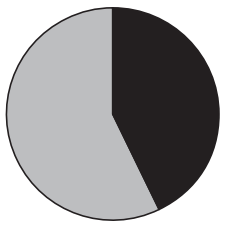
小須戸地区公民館
館長　古川　正利

伝統ある文化祭について、市民展を10月30日(土)31日(日)の2日間、芸能祭を11月7日(日)に開催を予定していました。

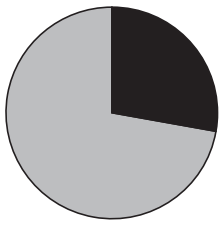
小須戸文化協会および小須戸地区公民館では、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、文化協会会員及び一昨年の市民展への出品サークル及び芸能祭への参加団体宛に、今年の文化祭について「実施した方が良いか中止とした方が良いか？」アンケートを取りました。

集計結果についてはグラフのとおりです。

今年の市民展について



今年の芸能祭について



小須戸文化協会では5月21日に役員会議を開催し、参加者及び準備・運営に関わる皆様の安心・安全の確保を考慮し、小須戸地区公民館と協議した結果、今年も開催中止を決定しました。令和4年度の「市民展・芸能祭」の開催についても、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた上で、文化協会・公民館等で検討します。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【文化協会役員会で出された意見】

- 「市民展」と「芸能祭」は車の両輪。片方実施して、もう一方を実施しないというのは考えられない。
- 準備から後片付けまで『手作り』の文化祭が小須戸の良いところ。そこでどうしても密になるので中止はやむを得ない。
- 「文化祭」は出来ないが、今やっている文化・芸能活動を大切にして続けていこう！

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL（0250）25－5715
FAX（0250）38－5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

第75回 県展開催

新潟日報社、新潟県、新潟市などが主催する県内最大の総合美術展、「第75回新潟県美術展覧会」が開催されました。日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に3377点の応募があり、審査の結果、入賞・入選作品1089点が、5月28日(金)から6月6日(日)まで新潟展として、朱鷺メッセのウェーブマーケットを会場に展示されました。小須戸地区からは5名の方の作品が入選されましたので、作品と作者のコメントを紹介します。

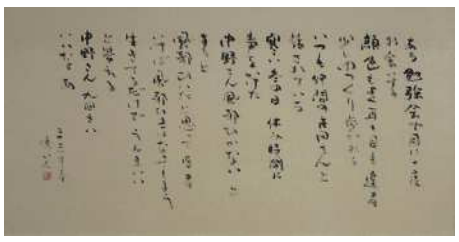
写真部門「捕食」
風間忠雄さん（小須戸）

久々の応募なので撮りためた中から選んで出品しました。作品は2008年８月に撮影したものです。
本当に「ラッキー！」でした。

写真部門「夢見る唇」
野﨑義和さん（横川浜）

被写体がいないと成立しない写真。私は黒子になって魅力を感じる被写体を撮らせてもらっています。

書道部門「中野さん 94 さい」
五十田順さん（小須戸）



日頃の思いを言葉にし、読めるように書きました。

版画部門「追憶の山河」
小見久雄さん（小須戸）

ワイヤーブラシとカッターナイフで制作しました。彫刻刀は使っていません。板材はラワンベニアと発泡スチロールです。

書道部門「杜甫詩」
佐久間杏華さん（小須戸）

線の強弱、文字と余白のバランスを意識して書きました。これからも好きな書を続けたいと思います。

ちょこっと一言

「希　望」

吉田英明さん（小須戸）

日本でコロナ感染が発覚されてから、もう一年半。ガラリと生活が変わり、どんな時もマスクをし、大人も子どもも我慢の一年でした。

我が家は、大学生の息子がおり一年間大学に立ち入る事すら出来ない日々を過ごしました。

小学生の娘も楽しみにしていた行事が次々となくなり、可哀想だなと親としても辛くなったものです。まさかこの様な世の中になるとは思いもしませんでした。

コロナがまん延してから出来なくなった事は数え切れない程あります。ですが、裏を返せば日々当たり前だと思っていた事、何気ない日常のありがたさに気付かされた一年でもありました。

ワクチン接種が始まり、ほんの少し光が見えた気もします。子ども達の将来、こんな事があったんだと笑って話せる日が来たらいいなと願います。

小須戸今昔展 vol.2 「本町交差点」

（協力：小須戸コミュニティ協議会 小須戸アーカイブ'S）

①大正13年（1924年）
町の中心部、右へ曲がれば矢代田へと続く。木造の火の見櫓と消防詰所、洋風の織物組合事務所が見える。車は白根のタクシー会社のもので矢代田―白根間を往来していた。

②平成元年（1989年）
矢代田駅に向かうバスはこの十字路を右に回る。ちょっと前まで朝のバスはいつも満員だった。
マイカーが人の流れとまちの様子を大きく変えた。

③令和２年（2020年）
どこの古い街並みもシャッター街に変わっている中、10年ほど前から「小須戸の町屋」を見直す新しい動きが始まった。
2010年刊行の小須戸まち育て奮闘記「小さな町こそ輝る」が面白い。

「令和3年度 小須戸燈籠押合いまつり」中止について

小須戸まつり協賛会では、今年度の小須戸まつりにつきましても、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、参加者及び来客者の適切な行動確保と身元の把握など十分な感染対策が困難と考えられることから、誠に残念ではありますが、昨年に続き中止することとしました。

小須戸まつり協賛会　会長　安達　芳夫

編集委員のつぶやき

先日の事。道を歩いていて向こうから来る人に「こんにちは」と挨拶された。見覚えはあるのだが、マスクで顔の半分が見えない。「こんにちは」と挨拶を返したが、分かるまで時間がかかった。マスク姿が当たり前になったこの頃、時々ある事だ。最初からマスク姿しか見た事のない人は最近多い。そういう人にマスクなしで声をかけられたら、すぐに分かるだろうか？（る）

6月の公民館事業を終えて

●楽しい小須戸お花塾

６月20日(日)に「楽しい小須戸お花塾」を行いました。(連続３回の講座の第２回目) 今回のテーマは、「フラワーアレンジメント入門」でした。

参加者のほとんどは、初めてのフラワーアレンジメントということで、講師の中野節子先生から、わかりやすい言葉で、レイアウトなどについて説明していただきました。

その後、実際に先生から準備していただいたお花を使ってのアレンジメントを行いました。完成した作品はみんなそれぞれ個性があり、とても素敵に出来上がりました。

受講生の作品の一例

●庭木剪定講習会

６月26日(土)中間木公園において、旧小須戸町で行っていた講習会を約20年ぶりに復活させました。

講師に新潟県立植物園職員で樹木医の田中良明さんをお呼びし、アメシロなどの病害虫予防の講義の後、①上枝から下枝へ作業する。②枝周りから中心へ剪定する。③芽を摘んだら古葉を取る。(強い芽は全て取り、弱い芽は残す) 等の剪定作業のポイントを教えてもらい、公園に植栽してあるクロマツの木の剪定を参加者と一緒に行いました。

剪定の手本を実演する田中先生

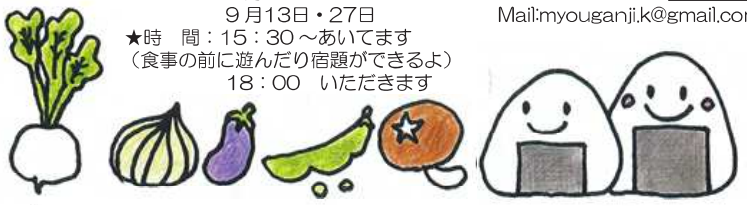
こすどっこ食堂は子どものための居場所です。お寺を開放して子ども達が自由に過ごせる場を提供しています。

ランドセルをかついだまま来てよし。宿題やってよし。自由に走り回ってよし。工作、お絵かきするもよし。その後みんなで温かいご飯をいただきます。

一緒にこの場を作ってくれるボランティアさん、そしてお野菜や食材の寄付も常時承っております。ぜひぜひ子ども達のために大人の力を貸してください。

★会　場：明願寺（秋葉区横川浜 3222）
★日にち：基本的に第２・第４月曜日
７月26日
８月 ９日・23日
９月13日・27日
★時　間：15：30～あいてます
（食事の前に遊んだり宿題ができるよ）
18：00　いただきます

★問い合わせ先
小柳さん
TEL：38-3087
Mail:myouganji.k@gmail.com



「文芸あきは」第15号作品大募集

- 募集作品　一般の部・青春の部（中高生対象）ともに
  随筆、小説（戯曲、童話を含む）、詩、漢詩、短歌、俳句、川柳の７部門で１人につき各部門１作品（２部門まで応募可）
- 応募資格　秋葉区に在住・在勤・在学・出身の方又は秋葉区内で活動中の団体に所属の方
- 投 稿 料　投稿者１人につき1,500円（中高生無料）　※投稿された方には、作品を収録した「文芸あきは第１５号」を贈呈します（中高生には在学する学校に贈呈）
- 応募方法　応募票に必要事項を記入のうえ、投稿料を添え、直接ご持参ください。
  郵送の場合は、投稿料分の定額小為替、応募票、作品を同封しお送りください。
  （手数料等は投稿者負担）
- 応募締切　令和３年７月３０日（金）必着
- 応 募 先　〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6　新津地域学園内
  新津文芸協会事務局（電話：０２５０－２２－９６６６　新津地区公民館）
- 主　　催　新津文芸協会

※応募票は小須戸地区公民館、新津地区公民館、新津地区市民会館、秋葉区役所等にあります。
詳細は、新津文芸協会事務局（新津地区公民館）までお問い合わせください。

小須戸地区図書室　新刊案内

【一般書】
- 『新謎解きはディナーのあとで』東川 篤哉 / 著（小学館）
- 『実践！介護フットケア　元気に歩く「足」のために』西田 壽代 / 監修（講談社）
- 『ドキュメント』湊 かなえ / 著（KADOKAWA）
- 『いやです、だめです、いきません 親が教える子どもを守る安全教育』清永 奈穂 / 著（岩崎書店）
- 『スポーツ観戦を楽しむ本』成美堂出版編集部 / 編（成美堂出版）
- 『イグジット』相場 英雄 / 著（日経 BP）
- 『理由がわかればもっと面白い！西洋絵画の教科書』田中 久美子 / 監修（ナツメ社）

【児童書】
- 『だれのうんち？うんちでわかる動物のひみつ』有沢 重雄 / 構成・文，小宮 輝之 / 監修・うんち写真（偕成社）
- 『地球がうみだす土のはなし』大西 健夫 / 文，龍澤 彩 / 文，西山 竜平 / 絵（福音館書店）
- 『６年１組黒魔女さんが通る!! 13 黒魔女さんと死霊の宮殿』石崎 洋司 / 作，亜沙美 / 絵（講談社）

秋葉区健康福祉課「健康ひと口メモ」
～フレイルを防いで健康に過ごそう！～

＜フレイルとは？＞

加齢によって筋力や心身の活動が低下した虚弱状態で、健康から要介護に移行する中間の状態です。

早期発見をして、適切な対応をすれば健康な状態に戻ることができます。

＜フレイルを予防するには？＞

○栄養面で、特に高齢の方はたんぱく質が足りない傾向があるため、魚や肉、卵や大豆製品などを積極的にとるとよいです。1日3食、バランスの良い食事をしましょう。

○活動量を減らさないことが大切です。家の中で足踏み、ラジオ体操をしたり、仕事や家事の合間にスクワットやつま先立ちなど、自分に合った適度な運動を継続しましょう。

○新型コロナウイルス感染予防に気を付けながら、人との関りを持ちましょう。社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入り口になりやすいです。会話することで口の力や認知機能の衰え防止になります。

文芸欄

俳句

喪籠もりの一週間で田が植はる　馬場　綾子
まはり道するふる里の夕薄暑　風間　幸子
ワクチンの長蛇の末尾初夏の風　吉田　松子
足音を聴いて畑の夏野菜　間野　えり
思い出は山友の手の落し文　長澤ゆう子
ワクチンの予約列なす薄暑かな　中野　太浪
宅配でカーネーションの届きけり　本多　玲子
お饅頭三つ供へて新茶汲む　吉澤　文子

川柳〈山〉

ここ出るよ試験ない兄したり顔　あさえ
『うるさいよ』ドラマの山場見たいのに　浄　栄
好きな山杖はのろいが登る四季　能登としお
弥彦山はるかに見える手を合わせ　増井　都留
ひき籠り山のみどりに深呼吸　保科　志枝
裏山のわらび伸び出し僕を呼ぶ　会田　修
よろこびが山を越えるとしみてくる　保科栄二郎
いい湯です明日も元気で頑張ろう　奉和　崇

〈自由吟〉

人並で良しと我が子の遠ざかる　久保ミネ子
テールライトの消ゆる迄見ゆ
空豆の早目に食べて甘味あり　玲　泉
莢の中にはふわふわ布団
蕗のとうの香り満ちいし厨辺に　高橋　キヨ
緑透き美ゆ天ぷら揚りぬ
タニウツギ花びらの散る山道に　こみけ
ツツドリの声林の奥から

短歌

俳句・川柳・短歌募集　題材は自由（お一人一句または一首）。住所、氏名（ペンネーム可）、電話番号を明記し、７月20日（火）までに小須戸地区公民館へ。
（※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。）

小須戸コミュニティ協議会

「ごみ」の分別で迷っていませんか？
私たちがスッキリのお手伝いをします！

新潟市の資源ごみの回収にいつもご協力いただきましてありがとうございます。皆様のおかげで小須戸・山の手コミ協に戻ってくる古紙リサイクル還付金は、昨年度合わせて約153万円にもなりました。でも、「古紙の日」に時々迷いませんか？紙コップ・カップ麺・アイスカップは？マスクは？アルコール消毒で机を拭いた紙は？「あ～次々と…めんどくさい！」…そうですよね。「違反シール貼られた！」…こんなこともありますね。今回はこれをスッキリさせたいので、古紙だけではなく燃やさないゴミや危険物などで迷う品物や出し方などをどんどん質問してください。ごみ収集業者とエコ推進員がスッキリとお答えして、皆様の分別のお手伝いをいたします！

楽しんでエコの雑談をしましょう！

●主　催：小須戸コミュニティ協議会　環境・教育部会
●日　時：８月７日（土）午後７時～８時半
●会　場：小須戸まちづくりセンター　２階　研修室
●参加費：無料　●対象：どなたでも（予約不要です）
●相談者：長澤富士夫さん（一般家庭ごみ収集運搬業者）
　　白井　智雄さん（クリーンにいがた推進員）

「東京 2020 オリンピック」
聖火リレーのトーチ展示！！
～町屋ギャラリー薩摩屋～

６月４日、５日に新潟県内で行われた聖火リレーに参加した深澤孝良さん（小須戸）のご厚意によりトーチやユニフォーム、関連グッズなどを展示します。

あの聖火リレーのトーチを間近で見ることができる貴重な機会です。ぜひ見に来て下さい。

当日は深澤さんご本人から聖火リレーの裏話を聞くことができるかもしれません。

●期日：７月２２日（木・祝）
　　２３日（金・祝）の２日間
●時間：10：30～15：30
●場所：町屋ギャラリー薩摩屋
　　（小須戸3394番地）

山の手コミュニティ協議会からのお知らせ

『山の手ふれあいまつり』は9月18日(土)に行います
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を縮小して実施します。楽しい内容を企画中です。